

ソビエツト聯邦ト日本國間トノ中立條約

ソビエツト聯邦最高委員會主席及日本國天皇陛下
下ハ兩國間ノ平和的及外交的關係ヲ鞏固ナラシ
メント欲スルニ因リ、中立條約ヲ締結スルコト
ニ決シ左ノ如ク其ノ委員ヲ任命セリ

ソビエツト聯邦最高委員會主席

ソビエツト聯邦外務人民委員及人民委員議長
アチエスラー・ミツクハイロザイツチ・モロトフ
及

日本國天皇陛下

從三位勳一等松岡洋右及ソビエツト聯邦駐在特
命全權大使從三位勳一等功四級陸軍中將竹川
次ハ互ヒニ相當スル委任狀ヲ呈出シ、法令ニ準
ジテ正式ニ認メタル後左ノ如ク協定セリ

第一條 各締約國ハ相互間ニ平和的及外交的
關係ヲ維持スルコトヲ約シ且相互的ニ他方ノ締約
國ノ領土保全及不可侵ヲ尊重スルコトヲ約ス

第二條 締約國ノ一方ガ他ノ一國又ハ數國ノ爲
ニ軍事行動ノ主体トナリタル時ハ、締約國ノ他
ノ一方ハ國爭ノ全期ニ亘リ中立ヲ維持スベシ

第三條 本條約ハ兩締約國ニ依リ批准サレタル
日ヨリ其ノ效力ヲ發スルモノトス且其ノ有効期

FILE
RETURN TO ROOM 361

間ハ五年トス。締約國ノ何レモ本條約終了期一
年前ニ之ヲ廢棄セザルトキハ自動的ニ繼續五年
間效力ヲ有スルモノト見做ス

第四條 本條約ハ可及的遠カニ批准セラルベシ
批准交換ノ手續ハ可及的遠カニ東京ニ於テ行ハ
ルベシ。

右證據トシテ本條約書二通ヲロシヤ語及日本語
ヲ以テ作成シ前記委員ハ之ニ署名調印セリ

V · M O L O t O V

松岡洋右

竹川義次

日ソ中立條約ハ昭和十六年四月十三日ソビエッ
ト聯邦最高人民委員會主席ニ依リ批准セラレタ
リ

日ソ中立條約ノ批准ノ交換ハ昭和十六年五月二
十日東京ニ於テ行ハレタリ

宣 言

昭和十六年四月十三日、ソビエット聯邦及日本
國間ニ締結サレタル中立條約ノ精神ニ則リ、ソ
ビエット聯邦政府及日本國政府ハ兩國間ニ平和
的及友交的關係ヲ確保セント欲シ、ソビエット

聯邦ハ滿洲國ノ領土的保全及不可侵ヲ尊重シ、
日本國ハ蒙古自治政府ノ領土的保全及不可侵ヲ
尊重スルコトヲ茲ニ此ニ宣言ス。

於モ・イスコ・ 昭和十六年四月十三日

ソビエツト聯邦政府ヲ代表シテ

V・M・P・O・M・O・V

日本國政府ニ代リ

松岡洋右

竹川義次

「ソビエツト最高委員會電報」昭和十六年四月
六日、第二十四號ヨリ。